



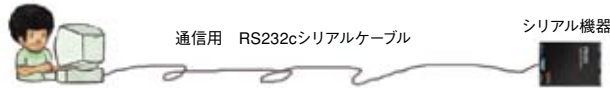
シリアルケーブルからの解放



シリアルケーブルを使わずにシリアル通信ができたと思ったらありませんか。
 機器にParani-SD/UDシリーズ製品をアドオンするだけで、ドライバーインストール不要でシリアル通信をBluetoothワイヤレス化できます。
 ケーブル長や移動制限にとらわれない「ケーブルからの解放」をご提案します。

接続図

ケーブルが長くて邪魔だな…



ワイヤレスですっきり～



Paraniのマルチ接続例

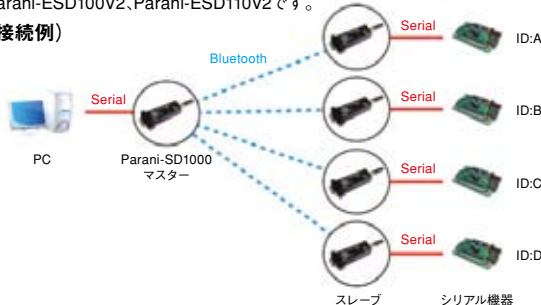
1台のマスター機器が同時に4台のスレーブ機器と双方向通信（マスター機器 <--->スレーブ機器）を行います。RS422/485のマルチドロップ通信と類似しています。

Multi Drop mode (マルチドロップモード)

データがマスター機器のシリアルインターフェースを通して送られてくると、そのデータは全部のスレーブ機器に一斉送信されます。一方、スレーブ側の機器にシリアルデータが送られると、マスター機器のみに送信されます。

対応製品は、Parani-SD1000 ver.2、Parani-SD1000U、Parani-ESD1000 ver.2、Parani-ESD100V2、Parani-ESD110V2です。

(接続例)



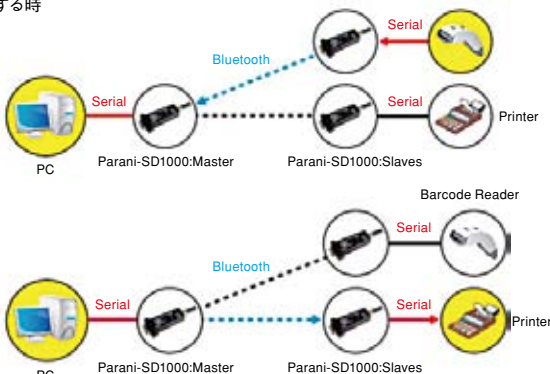
Node Switching mode (ノード・スイッチモード)

1台のマスター (M)機器は4台のスレーブ(S1, S2, S3, S4)機器に常時接続していますが、データは一度に1台のスレーブのみに送信するモードです。どのスレーブ機器にデータを送るかは、ATコマンドにより選択できます。従来の1：1接続の場合と比較すると、Node Switching modeはより速く、より簡単に接続の切り替えが可能となります。

(接続例)

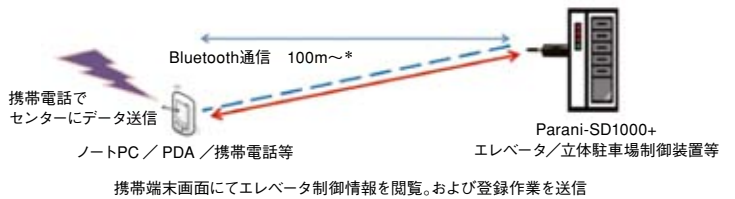
Node Switching modeは1台のマスター機器が複数のBluetooth機器と連続的通信をする場合に有効です。

- ホストにより制御されたバーコードスキャナとプリンタとの通信
- 複数のシリアルプリンタまたはディスプレイモニター間でホストが接続を変更する時

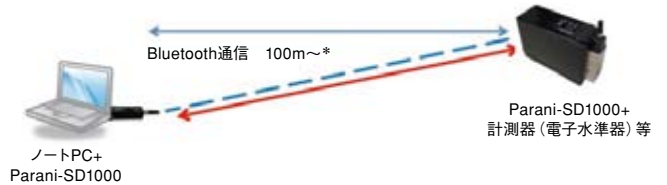


事例

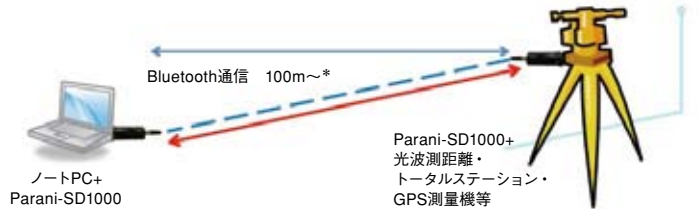
エレベーターメンテナンス機器からのデータをBluetoothで携帯端末に送信、メンテナンスセンターへデータを送信



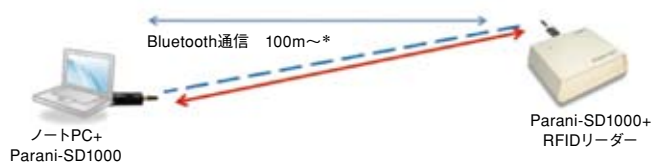
Parani-SD1000で電子水準器のデータをBluetooth無線送信



Parani-SD1000で測量機器とPC間をBluetooth無線化



RFIDリーダーからの読み取りデータをBluetoothでノートPCに送信、データを管理



LED電光掲示板とコンソール用PC間をBluetooth接続



ポータブルPOSハンディターミナルとレシートプリンタを無線接続

